

このたびはご購入いただきまして誠に有難うございます。  
 本書に誤りがございましたので、深くお詫び申し上げますとともに、下記のように訂正させていただきます。

訂正箇所		誤	正
ii 頁	右段 9 行目	脳の水平断面と前 <u>断</u> 断面,	脳の水平断面と前 <u>額</u> 断面,
4 頁	右段 5 行目	網膜のアマクリン細胞	左の記載を削除
	右段 8 行目	嗅細胞や	左の記載を削除
32 頁	右段 2 行目	<u>マウス</u> の	<u>ラット</u> の
34 頁	左段 下から 6 行目	neurotrophin <u>4</u>	neurotrophin <u>4/5</u>
44 頁	左段 Memo 3-2 の前 4 行目	Clark	Clar <u>e</u>
54 頁	右段 Memo 4-2 の前 7 行目	内弓状線維 internal arcuate fibers といい,	左の記載を削除
66 頁	図 4-26	舌咽・迷走神経 <u>下</u> の神経節	舌咽・迷走神経の <u>下</u> 神経節
	図 4-27	舌咽・迷走神経 <u>下</u> の神経節	舌咽・迷走神経の <u>下</u> 神経節
69 頁	図 5-3	中心被蓋路 ( <u>オリブ赤核</u> 路)	中心被蓋路 ( <u>赤核オリブ</u> 路)
71 頁	図 5-9 の表	左動眼神経の障害 ( <u>右</u> 眼の内転不能,	左動眼神経の障害 ( <u>左</u> 眼の内転不能,
75 頁	左段 下から 1 行目	顎下線の	顎下 <u>腺</u> と舌下 <u>腺</u> の
78 頁	左段 5 行目	<u>fibers</u>	<u>fasciculus</u>
86 頁	左段 6 行目	pup <u>p</u> illary	pup <u>i</u> llary
98 頁	左段 3 行目	fastig <u>e</u> al	fastig <u>i</u> al
100 頁	左段 22 行目	Clark	Clar <u>e</u>
103 頁	図 7-18 の説明 6 行目	m <u>f</u> : 内側 <u>網</u> 帯	m <u>l</u> : 内側 <u>毛</u> 帯
	左段 4 行目	fastig <u>e</u> al	fastig <u>i</u> al
	右段 下から 8 行目	<u>前庭小脳</u> 線維	<u>小脳前庭</u> 線維
105 頁	図 7-21		<b>別掲</b>
119 頁	左段 下から 9 行目	Pap <u>e</u> t <u>z</u> 's circuit	Pap <u>e</u> <u>z</u> ' circuit
141 頁	右段 5 行目	連合 <u>分</u> 野は	連合野は
144 頁	右段 下から 4 行目	②外側嗅条 lateral olfactory stira	②外側・ <u>内側</u> 嗅条 lateral <u>and medial</u> olfactory stria <u>e</u>
146 頁	図 10-17 の説明	(Lewis JFT: Comp Neurol	(Lewis JFT: <u>J</u> Comp Neurol
156 頁	右段 6 行目	表情筋 <u>支配</u> を支配する	表情筋を支配する
180 頁	左段 下から 4 行目	軟膜 <u>を</u> を越えて	軟膜を越えて
187 頁	Memo 14-1 の次	2 椎骨動脈 vertebral artery	2 椎骨動脈 vertebral artery
210 頁	右段 下から 6 行目	1) 上丘 superior colliclus	1) 上丘 superior collic <u>u</u> lus
	右段 下から 5 行目	2) 下丘 inferior colliclus	2) 下丘 inferior collic <u>u</u> lus
211 頁	図 16-17 脳弓柱 (出部) の右	第 <u>四</u> 脳室脈絡叢	第 <u>三</u> 脳室脈絡叢 <b>別掲</b>
216 頁	右段 1 行目	fastig <u>e</u> al	fastig <u>i</u> al
	右段 2 行目	②球状核 ( <u>前中位核 anterior interpositus nucleus</u> )	②球状核 ( <u>後中位核 posterior interpositus nucleus</u> )
	右段 4 行目	③栓状核 ( <u>後中位核 posterior interpositus nucleus</u> )	③栓状核 ( <u>前中位核 anterior interpositus nucleus</u> )
	図 16-27	G <u>栓状核</u> (後中位核) E <u>球状核</u> (前中位核)	G <u>球状核</u> (後中位核) E <u>栓状核</u> (前中位核)

訂正箇所	誤	正
233 頁 左段 1 神経組織学 問 10	○	× 解説 前角運動ニューロンの軸索が中枢神経系の内部にとどまる範囲ではオリゴデンドログリアがその髄鞘を形成するが、前根に進入後はシュワン細胞が髄鞘を形成する。
左段 1 神経組織学 問 11	× 解説 前角運動ニューロンの軸索が中枢神経系の内部にとどまる範囲ではオリゴデンドログリアがその髄鞘を形成するが、前根に進入後はシュワン細胞が髄鞘を形成する。	○
235 頁 右段	延髄 ——の弓状核 arcuate nucleus 117	延髄 ——の弓状核 arcuate nucleus 56
237 頁 左段	嗅糸状体 olfactotry	嗅糸状体 olfactory
左段	クラーク氏核 dorsal nucleus of Clark	クラーク氏核 dorsal nucleus of Clarke
239 頁 左段	室頂核 fastigeal nucleus	室頂核 fastigial nucleus
左段	室頂核遠心性線維 fastigeal efferent fibers	室頂核遠心性線維 fastigial efferent fibers
244 頁 左段	パペッツの情動回路 Pape <sup>t</sup> z's circuit	パペッツの情動回路 Pape <sup>z</sup> circuit

105 頁 図 7-21 小脳脚の構成



